



SSH通信

第47号

令和7年6月20日 発行
東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
電話 03-3382-0601
最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

探究合宿 「探究とは何か」

中学1学年が探究合宿で「探究とは何か」について考えました。探究発表会が近付いてきました。相互評価活動や富士未来構想サポートチームによる指導を受けて、ポスターを改善する姿が見られました。

富士未来学Ⅰ「探究合宿」中学1学年

中学1学年の生徒が6月5日（木）から1泊2日で探究合宿に行ってきました。富士山が見える場所で「探究とは何か」について考えました。

討論講座

1日目の午後の討論講座では、原子力発電について賛成派と反対派に分かれて議論を行いました。各立場からメリット・デメリットを論理的に説明し、異なる意見や考え方に耳を傾け、必要に応じて自己の考えを修正しながら議論を進めました。一般的なディベートでありがちな、相手を打ち負かすことだけに終始せず、互いの理解を深める建設的な討論を実現することができました。今回の討論講座で学んだ論理的な説明で納得させる技術を、今後の探究活動にも生かして行って欲しいと思います。

探究とは何か

1日目の夜から2日目にかけて、グループに分かれて「探究とは何か」についてポスター作成に取り組みました。勉強と探究の違いを、文章と図を用いて分かりやすく表現し、探究学習の意義に対する理解を深めました。各班が探究についての発表を行い、さらに6年間でどのような探究者になりたいかについても発表しました。互いに質問が飛び交い、相手の考えを理解しようとする姿勢に討論講座での学びが活かされていると感じました。皆さんが富士山型の探究者へと成長することを期待しています。



富士未来学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ「ポスター作成」全学年探究発表会に向けて、各学年のポスター作成が大詰めを迎えています。中学全学年と高校1学年は富士未来学で学習したことを、高校2学年は課題研究の中間報告をポスターにまとめました。また、高校3学年は6年間の集大成として課題研究の成果を英語でポスターにまとめました。ルーブリックを基に自己調整しながら改善する姿が見られました。



見やすいポスターとは

課題研究強化週間（相互評価活動・発表練習） 全学年
 課題研究強化週間の時間に、ルーブリックを基に相互評価活動を行いました。それぞれ自己評価を行った後にポスターを交換し、ルーブリックの項目ごとに他者評価を行いました。「どうしたらもっと良くなるか」を考えてお互いにコメントし、もらったコメントを基にポスターを改善しました。相手に配慮しながら、ポスターの内容や構成について指摘し合う姿が見られました。その後、修正したポスターを使用して発表練習を行いました。



相互評価活動の流れ

- 自己評価
- 他者評価
- ポスター改善
- 自己評価



富士未来学係による準備

富士未来学係の生徒が中心となって探究発表会の準備を進めています。説明をしているのは高校2学年の代表生徒です。生徒が使用するシールシートや、参会者に配布するプリントの作成を行いました。また、開会式やオンライン発表の司会原稿の確認をしました。



富士未来学係が探究発表会を牽引

富士未来構想サポートチーム（課題研究強化週間）

課題研究強化週間に、富士未来構想サポートチームとして大学や企業の研究者などの有識者と卒業生による課題研究の個別指導（10名の有識者と卒業生で39名の生徒を指導）や、オンラインによる口頭発表の指導（9名の有識者で延べ24件の発表を指導）を同時並行で実施しました。指導を受けた生徒からは「緊張した。自分では思い付かないような助言を沢山もらうことができた。すぐに改善したい」といった感想がありました。



個別指導の様子